

平成 15 年 8 月 20 日

耐震指針検討分科会での検討に今後必要となる資料について

8 月 12 日に保安院－事務局間で行われた打合せでの合意に基づき、以前保安院からご提示のあった資料リストのうち下記のものについて事務局としても勉強し理解を深めたいと存じますので、近日中にご説明いただきますようお願いいたします。

なお、下記の表は、「指針改定に係る検討項目と今後の作業（案）」（2003/1/6 付）の中から抽出したものです。

検討項目	資料名	内 容
震源を事前に特定できる地震	松田式について	国内外のデータから簡便な手法として「松田式」は有効であることを示す。
	活断層評価法について	新旧松田式に関するレビュー、セグメンテーションについて最新知見を整理する。
	スラブ内地震の地震動評価について	スラブ内地震の地震動特性を地点ごとに検討することで、その地震動を評価可能であることを論文、評価例を用いて示す。
震源を事前に特定できない地震	鳥取県西部地震による地震動について	鳥取県西部地震の KiK-net 等の地震観測記録及び断層モデルによる地震動評価を用いてその地震動レベルを示す。
地震動設定位置	地震動設定位置について	解放基盤表面、地震基盤の考え方を説明し、地震動を設定する基盤は、より震源の情報が保たれている「地震基盤」を考慮しておく必要性を示す。
標準応答スペクトル	位相特性における最新知見の群遅延時間に関する整理	位相特性が非線形応答へ及ぼす影響について整理する。群遅延時間に着目した検討を行う。
上下動	断層モデルによる地震動評価について	断層モデルによる地震動解析からは上下動も評価できることから、耐震設計に用いる上下地震動が策定可能であることを示す。

検討項目	資料名	内 容
S1、S2 の一本化	発電用原子炉施設に考慮すべき地震・地震動について	現行の S1 及び S2 地震動を設定した根拠を整理し、1 本化するか否か検討する。いずれの場合にも、基本的考え方及び及び具体的設定方法を検討する。また、現状どおり S1 及び S2 地震動とする場合には、審査指針で規定すべき地震動の範囲についても検討する。
耐震重要度分類	耐震重要度分類について	現行の耐震重要度分類の基本的考え方を再整理し、審査指針における定義の表現法について検討する。施設の具体的な耐震重要度分類については民間指針にて規定する。
静的地震力の扱い	静的地震力について	現行の静的地震力設定の考え方を整理し、特に変更の必要が無いことを検討する。
応答解析	機器・配管系の減衰定数について	現行審査指針制定後の機器・配管系の減衰定数に関する新たな知見を整理し紹介する。(JEAG4601 に規定は無いが、日本電気協会の耐震設計専門部会等で審議終了したものも含める。)
許容限界	安全上の要求機能と許容限界について	地震時における安全上の要求機能を整理し、その要求機能を満足させるための許容限界について検討する。強度、歪、変位で制限する場合、加速度で制限する場合について検討する。
荷重の組合せ	地震荷重と他の荷重の組合せについて	地震の従属事象による荷重とは組合せ、地震との独立事象による荷重の組合せについては、確率的な考えを導入して可否を判断する現行の基本的考え方を紹介する。
地質調査手法	地質調査手法の高度化	<ul style="list-style-type: none"> ・最新の物理探査手法の紹介 ・広域調査、敷地内調査・試験の高度化内容 ・性能規定化した記載案